



大会名 2018 Classic Porsche Sports Day 3 時間耐久チームリレー Summer Game

開催日 2018 年 7 月 8 日 (日)

開催地 袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ

開催概要

1 チーム 3 台までのクラシックポルシェ(型式、年式は別途記載)を複数のドライバー(チーム)がトランスポンダー(自動計測器)を搭載して、規定時間 3 時間での走行距離を競うリレー方式のチーム耐久レースです。ただし、モデル、年式、および改造範囲によって、車両ごとにハンデキャップタイム(ピットストップ)を設けません。

大会組織委員

大会会長	井関純夫
競技委員長	杉本三四郎
選手会長	郡谷正夫
実行委員長及び事務局長	猪田昌明
事務局	河村聡巳、高橋真光、吉村誠司
運営	株式会社榎出版社 The Garage Works

①ドライバーとチームおよびチームマネージャー

- チーム登録できるドライバーは最少 2 名、最大 3 名までの普通運転免許証保有者となります。(JAF、サーキットライセンス不要)
- チームマネージャーはドライバーとの兼務可能です。ただし、全ての連絡事項はチームマネージャー宛となります。
- チームマネージャーは識別のため、大会期間中、左腕に腕章を常時装着していただきます。腕章は事務局で用意します。
- チームメンバー、メカニック、サポートクルー、チーム関係者は常に安全の確保に留意してください。また、チーム関係者に重大なサーキット規則やマナー違反があった場合、該当チームはペナルティや失格になる場合があります。
- 各チームにはチーム名が必要です。スタイリッシュなチーム名を強く推奨します。

②参加車両と装備

- 1チーム最大 3 台までの、1956 年から 1994 年までに製造された空冷ポルシェのみエントリー可能です。
- 参加チームは最大 30 チームとなります。

参加費

- 1チーム:90,000 円(税込) 参加車両 1~3 台、参加ドライバー2~3 名まで。5 名分のランチ込み。

競技参加車両

- 公道走行可能なナンバー付車両に限ります。
- 音量に関しては、袖ヶ浦フォレスト・レースウェイの基準(95dB 以下) 遵守となります。くれぐれもご協力をお願いします
- 3点式以上のロールゲージ、シートベルトは4点式以上のフルハーネスの装備を強く推奨します。
- 内容量 1.5 kg以上の消火器を車載することを強く推奨します。
- オイルキャッチタンクの装着を強く推奨します。
- 前後に牽引フックを必ず装着してください。装着されていない場合は、その他の部分で牽引する場合があります。車両に傷や損傷を与える場合がありますが、オフィシャル、事務局では責任を負えません。
- 当日受付時に、参戦車両台数分のゼッケンを用意します。(1台分2枚×参加台数分)
- ストップランプ、テールモールランプ、バックランプ、前後ウインカーは必ず点灯することが必要です。ただし、バックランプが義務化される以前、1968年製までの車両はこの限りではありません。
- バッテリーを車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離することが必要です。
- 燃料タンクは、純正燃料タンク、または安全燃料タンクへの変更が可能です。
- 純正燃料タンク使用の場合は、いかなる加工も不可となります。安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規定しません。ただし確実に隔壁遮断してください。
- キルスイッチの装着を強く推奨します。取り付け位置は、車両前部の運転席側のフロントウインドウ下部、および車内。車内の設置において、運転者が操作可能であることが必要です。
- エキゾーストおよびマフラーの形状、および素材の変更が可能です。
- GT ウイングの装着は禁止とします。GT ウイングの定義=ボディと一体ではないローマウント及びハイマウントのステーを取り付けているウイングの総称です。
- 吸気システムの変更、および制御システムの変更が可能です。
- 装着するタイヤについて、Sタイヤは使用可能ですが、スリックタイヤは禁止とします。
- 参戦車両の変更は当日受付時まで可能です。ただしエントリー時の車両のハンデキャップタイム(HCT)がベースとなりますので、変更車両の HCT が元の車両と異なった場合、加算はありますが減算されることはありません。
例) 元の車両の HCT 2分
変更車両の HCT 1分の場合→2分が適用、3分の場合→3分が適用
- 事務局ならびに競技委員長が認めた場合に限り、ナンバーの付かないセミレーサーが参加する場合があります。

③車両検査

- タイムスケジュールに沿って出向車検を行います。車両検査に合格していない車両は出走できません。
- オイル漏れについては、特に注意をお願いします。
- 破損によるパーツの落下・飛散防止のためにテーピングをお願いします。ガラス製のライト及びレンズ類は全て必須となります。樹脂製レンズ類、ホイールのバルンサーへのテーピングは推奨となります。
- テーピングのためのビニールテープ類は、各チームにて用意して下さい。
- 配布ゼッケンは参戦全車両の左右のドアに、必ずゼッケン4辺の外周をテープ等で確実に貼り付けてください。
- 本大会以外のゼッケンが貼ってある場合は、剥がしていただくか、数字が識別できないよう隠してください。特にフロント(ボンネット等)にゼッケンがある場合は注意をお願いします。
- 純正燃料タンク車は燃料吹出防止のため、ガソリン給油口を確実に締めたことの確認として、給油キャップのテーピングをお願いします(ピットガレージ内での給油は、いかなる場合も禁止となります)。

- 車両検査後に、車検ステッカー(ハンデキャップタイム明記したもの)を配布します。フロントガラス右側、およびリヤガラス右側に貼り付けてください。
- 参加車両条件、車検項目に関しては、マネージャーより各チーム員へのアナウンスをお願いします。

④ドライバーの連続走行規定時間

- 2時間の競技時間中、1人のドライバー連続走行規定時間は20分以上50分以内と定めます。
- ドライバーは1走行で最小規定時間以下、最大規定時間以上のドライビングを行うことはできません。
- 最小、最大規定時間外のドライビングを行った場合は、ペナルティの対象となります。ただし一度最小走行時間をクリアしたドライバーが、再度乗車してチェッカーを受ける場合、競技終了までに20分を消化できない場合は、その限りではありません。
- ドライバー交代時には、各車のハンデキャップタイムとは別に、1分のストップタイムを義務付けます。
- 最小規定時間を消化したドライバーがエンジンを停止、一度降車し、1分のストップタイムをクリアした後に再度乗車してドライブすることは、連続走行にはなりません。その際は、ハンデキャップタイム計測担当者に必ず申し出て確認してもらって下さい。
- ドライバー交代の際は、必ずエンジンを停止して下さい。

乗車時間の計測方法

- ドライバー走行規定時間の計測開始は、ドライバーが車両に乗り、準備後、エンジンをスタートした時点からとなります。
- ドライバー走行規定時間の終了は、車両がピットガレージ(作業エリア含む)に戻り、タイヤが完全に停止し、エンジンをストップした時点までとなります。
- ハンデキャップタイムの計測開始から計測終了まで、車両に触れることを含めて一切の作業は禁止となります。
- ピットガレージ(作業エリア含む)で、ドライバーが乗車したままエンジンを止めていない時間は、走行状態とみなします。その場合、ドライバーの降車やピット作業は一切禁止となります。
- ドライバーの体調不良などで最小規定時間に満たない場合は、必ずオフィシャルもしくはハンデキャップタイム計測担当者に申し出て下さい。オフィシャルが認めた場合に限り、最小規定時間は免除になる場合があります。
- ハンデキャップタイム計測担当者は、2チーム毎に1名を配置する予定です。

⑤モデル別ハンデキャップタイム

- モデル別ハンデキャップタイムは以下の通りとします(仮設定)。
 - ・モデル 356(1956～1965年製) プロダクションクラス:±0分/スペシャルクラス:+1分
 - ・モデル 911(1963～1973年製) プロダクションクラス:+1分/スペシャルクラス:+2分
 - ・モデル 930(1974～1989年製) プロダクションクラス:+2分/スペシャルクラス:+3分
 - ・モデル 964(1989～1994年製) プロダクションクラス:+3分/スペシャルクラス:+4分
 1994年までの年式で、その他のモデルについては事務局にて判断します。
- ゼッケンとは別に、モデル別ハンデキャップタイムを表記したステッカーを2枚配布します。走行前に車両(フロントガラス右側/リヤガラス右側)への貼付けをお願いします。
- 排気量変更、エンジン載せ替え、サスペンション、ミッション、ブレーキ変更など、大幅な改造のある車両については上記の限りではありません。参加車両のスペックを元に、事務局及び競技委員長の判断により、別モデルのハンデキャップタイムが適合される場合があります。また、虚偽記載や不正行為があった場合、ペナルティが加算されます。
- 事務局判断により、当日にクラスが変更となる場合がありますのでご了承ください。

- 356 プロダクションクラス複数台で参戦予定のチームの方は、事前にご相談ください。

モデル別ハンデキャップタイムの消化

- ドライバー交代、車両交換の際は、モデル別ハンデキャップタイムとは別に、全クラスに1分のストップタイムが加算されます。
- ドライバー交代、車両交換は、必ずピットガレージ内に車両を入れ、エンジンを止めて行ってください。
- 車両交換の際、次にコースに出る車両が、暖機のため事前にエンジンをかけることは可能とします。ただし、前走行車両のハンデキャップタイム計測開始までに、エンジンを停止させてください。
- ハンデキャップタイムの計測は、走行車両がピットガレージ作業エリアに戻り、タイヤが完全に停止し、エンジンをストップした時点からとなります。
- ハンデキャップタイム消化中はエンジンストップが義務になりますので、ドライバーの連続乗車時間には含まれません。
- ハンデキャップタイム消化中における、ドライバーの交代は可能です。
- シートベルトの脱着等、ドライバー交替のためのサポート作業は可能です。
- トランスポンダーの付け替え作業、P-LAP の操作、映像機器セット、飲料セット、窓ふきなどの作業は可能です。それ以外の一切の作業は行えません。
- エアーチェックなど、車両整備に関わるいかなる軽作業も行うことはできません。
- 複数台の車両で参戦するチームがドライバー交代、車両交換する際は、走行後ピットガレージ内に車両を入れ、エンジンを止めて、それまで走行していたモデルに該当するハンデキャップタイム+ストップタイムを消化してください。
- 1 台の車両で参戦するチームも、ドライバー交代する際は、走行後ピットガレージ内に車両を入れ、エンジンを止めて、その車両に該当するハンデキャップタイム+ストップタイムを消化してください。
- チームのトータルハンデキャップタイムを、1 回のピットストップ時に、合算して消化することはできません。
- チェッカーを受けるアンカー車両に関してのみ、モデル別ハンデキャップタイムは適用されません。
- 車両チェック等でのピットインに関しては、ハンデキャップタイム、ストップタイムは適用されません。

⑥ドライバーのウェア、装備

- 4 輪用レーシングスーツ、レーシンググローブの着用が義務となります。不燃素材のものを強く推奨します。
- ヘルメットは、4 輪レース用ヘルメットの着用を極めて強く推奨します。
- ジェット型ヘルメットを使用の場合は、フェイスマスクの着用が義務となります。
- オープンカー、タルガルーフ車両は、フルフェイスヘルメットの着用が義務となります。
- 不燃素材のアンダーウェア、フェイスマスクを強く推奨します。
- レーシンググローブ、レーシングシューズは耐火性のものを強く推奨します。
- ハンスデバイスの装着を強く推奨します。

⑦車両の駐車場所

- レース参加車両、サポートカー、トランスポーターの駐車、待機場所は、ピット割当表とスタッフの誘導に従って下さい。
- チームのピットナンバーは、ピット割当表を確認の上、厳守して下さい。
- ピット、および自ピット後方パドックエリアに駐車できるのは、レース参加車両のみです。そのほかの車両駐車エリアは、すべて 1 コーナー側パドックとなります。
- サポートカーは、いったんピットにて必要機材、工具、タイヤ等を降ろしたのち、1 コーナー側パドックの一般駐車エリアへ移動してください。

- スタッフ、メカニック、チーム関係者の車両も、1 コーナー側パドックの一般駐車エリアへ駐車してください。
- ハンデのある方の駐車エリアは、事務局へご相談ください。
- キャンピングカーなどの大型車は、パドックへ進入、駐車することはできません。

注意事項

- サーキットでは、午前 8:30 より前のエンジン空吹かしや、パドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行・空吹かしを行わないようにして下さい。ただし、移動のためのエンジン始動はこの限りではありません。

⑧参加受付

- 参加受付は指定された時間までに、参加受理証、誓約書を事務局ブースに提出して済ませて下さい。
- 受付時にゼッケン、ランチチケット、必要書類等を受け取って下さい。
- 誓約書／参加申込書に不備がある場合は、記載・捺印をお願いします。

⑨自動計測機(トランスポンダー)

- 自動計測器は、受付時に配布しますので、必ず受け取りになり、競技終了後は速やかに返却をお願いします。
- 自動計測器は、サーキット推奨の取り付け方法に従い、リヤバンパーのナンバープレート部分に正しく装着してください。
- 自動計測器の取り付け用ホルダーは、各チームの参加車両台数分用意します。
- 万一、自動計測器、ホルダーを破損、紛失してしまった場合は実費弁償になりますのでご注意ください。

⑩ドライバーズブリーフィング(出走前説明会)

- 研修棟1Fブリーフィングルームにて行います
- ドライバーズブリーフィングには、チームマネージャー、登録ドライバー全員の参加が義務となります。不参加の場合、失格、またはペナルティとなる場合があります。
- ドライバーズブリーフィング会場入口に、各チーム名とマネージャー名、ドライバー名を表記したシートを設置します(予定)。各自、自分の名前にチェックを入れてください。

⑪スタート方法 <セミ ル・マン式>

- スターティングポジションは、ドライバーズブリーフィング会場にて、抽選で決定します。
- 8:50～スタート担当車はオフィシャルの誘導に従い、スタート順にピットレーンに整列し、隊列を崩さずにコースを1周回ってホームストレートに戻ります。
- ホームストレートではサインガード沿いを徐行し、自分のスターティングポジションにてエンジンをストップ。手押しにてサインガード側のスターティングポジションに車両を整列します。
- スターティングポジションの基準として、進行方向(1 コーナー)に対し、コース左方向に斜め 45 度に振った状態とします。右側リヤタイヤがコースからグラベルにはみ出さないよう注意してください。
- スタートドライバーは、エンジン停止のまま乗車した状態で待機、左手グローブをスタート担当のチームスタッフに渡します。
- スタートの合図は、日章旗の振り下ろしです。
- チームスタッフ 1 名(ドライバー以外も可、ただし中学生以上に限ります)がホームストレート上の車両とは反対側に待機。スタートの合図(日章旗振り下ろし)とともにコースを横断し、グリッド上で受け取っておいたグローブ片側をドライバーに渡します。

- ドライバーは、チームスタッフから受け取った左手グローブを完全に装着した確認として、左側の窓、もしくはドアの隙間から、左手を大きく上に出して下さい(オフィシャルが確認します)。その後、左側窓(もしくはドア)を確実に閉め、エンジンを始動してスタートします。
- グローブを渡したチームスタッフは、速やかにコンクリートウォールを乗り越え、サインガード内側に退避して下さい。

ウォーミングアップ走行

- スタート前に 20 分間のフリー走行(ウォーミングアップ走行)の時間があります。時間配分を考え、各チーム 1 台ずつ走行して下さい。
- ウォーミングアップ走行もタイム計測は行います。予選ではないので参考タイムとなりますが、全車のタイム計測が必要な場合は、決勝レース同様、走行車両毎にトランスポンダーを付け替えてください。

⑫救済処置

- エンジンが始動できなかった場合、オフィシャルの指示が出るまでそのまま待機し、全車スタート終了後、オフィシャルに従って車両をピットに移動して下さい。エンジンが始動できた場合はピットスタート、できない場合は車両を変更してピットスタートして下さい。
- スタート後、3 周以内で赤旗中断の際は、セーフティカーを導入し、レースを再スタートします。その場合は、ピットに戻った順に隊列を組み、セーフティカー先導でのローリングスタートとします。
- スタート後 30 分以内でマシントラブル、コースアウト等の理由で走行困難な場合、チームからオフィシャル(ハンデキャップタイム計測担当者)への申し出があり、競技委員長が承諾した場合に限り、別の自動計測器を配布して復帰する救済処置を行う場合があります。ただし 30 分を超過している場合は、その限りではありません。リタイヤとなります。

セーフティカーコントロール

- レース中のトラブルの処置は、競技委員長が状況を判断し、セーフティカーコントロールとする場合があります。
- セーフティカーがコースインするタイミングは、トップ車両の前とは限りません。
- セーフティカーコントロール中は、セーフティカーを含む前車を追い越すことは禁止します。
- セーフティカーのコーションランプが消えるタイミングは、ホームストレート、もしくは状況により 9 番ポスト前となります。
- レース再スタートは、セーフティカーがピットインしたのち、メインポストのグリーンフラッグ振動後となります。ただし、コントロールランを通過するまでは、前車を追い越すことはできません。

⑬通信機器の使用

- ピットとドライバー間での無線機の使用は可能です。

サインボード提示

- 競技中サインボードは、サインガードから手の届く範囲で、コース内に向けて掲示することが可能です。

⑭ピット規定

- ピットは、各チームの参戦台数により、1 ピットもしくは 2 ピットガレージとなります。ピットナンバーは参加受理書と共に案内します。
- ピット割は大会事務局にて決定します。諸事情により変更になる場合は、当日受付時にご案内します。
- 整備スペースは、ピットガレージ前作業エリア、ピットガレージ内、および自ピット後方のパドックエリアとします。

ピットガレージ前作業エリア

- ピットガレージ前作業エリアに出て作業ができるのは、ドライバーも含めて5名迄です。
- 競技中に車両がピットインした場合の軽作業(エアチェック、窓ふき等)は、ピットガレージ前作業エリアにて可能です。その場合も安全確保のためエンジンは必ず止めてください。
- ピットガレージ前作業エリアにての作業に関しては、ハンデキャップタイム、ストップタイムは適用しません。またエンジンは停止していますが、ドライバーの連続走行時間を含みます。
- ピットガレージ前作業エリア、ピットガレージ内は火気厳禁です。喫煙は所定の喫煙スペースにてお願いします。

ピットへの進入

- ピットインする車両は、8コーナー通過時よりコース右側を走行し、9コーナー(第2ヘアピン)立ち上がりも右側走行を心がけてください。
- ピットロードへの進入は、入口手前で右ウインカーまたは手で合図して安全を確認して進入して下さい。
- ピットレーンの制限速度は、40km/h以下です。速度超過はペナルティの対象になります。
- ピットロード、ピットレーンは一方通行です。バックすることはできません。バックギアの使用はペナルティの対象となります。
- 自ピットへの進入に際しては、ピットレーン最近部からピットガレージ作業エリア、もしくはピットガレージ内に入って下さい。

ピットからの発進

- ピットガレージ内よりエンジンの始動は可能です。
- ピットアウト時の押しがけは禁止です。ただし、オフィシャルが認めた場合に限り、可能とします。
- コース進入の際は、ピットロード出口付近の信号機の指示、またはオフィシャルの合図に従って下さい。
緑色ランプ点灯:コースイン可、
赤色ランプ点灯:コースイン不可
- コース進入時は、必ずピットロード延長上の白線内側(右側)を走行し、第1コーナーは必ず右側を走行して下さい。

⑮給油

- 競技前、競技中、走行時間内にピットインして、ピットガレージ前作業エリア、ピットガレージ内で給油することは、いかなる場合も禁止します。
- ガソリン給油は、必ずサーキット内ガソリンスタンド、およびガソリンスタンド周辺のラインで囲まれた給油エリアにて行って下さい。
- 給油時に使用するガソリン携行タンクは、金属製のものを使用して下さい。その最大容量は20リットルと定めます。
- ピットからパドックを経由して給油エリアに車両を移動させる際は、周囲の安全に十分注意し、徐行運転をお願いします。

⑯競技の中断及び再スタート

- 赤旗による競技中断合図指示後の追い越しは禁止です。
- 競技中断の際も、計時システムは停止しません。
- 赤旗表示後は、ピットロードに入ってきた順で、ピットロードにて整列待機となります。その際のドライバー交代、車両整備、車両交換はできません。
- 競技再開は、ピットに戻った順に隊列を組んだままコースイン、追い越し禁止でコースを周回し、コントロールラインでのグリーンフラッグ提示を合図とします。
- 赤旗中断時にピットインしていた車両は、最後尾スタートとなります。

- 赤旗中断のタイミングでドライバー交代、車両交換したい場合は、いったん再スタートしホームストレートを通り(最低 2 周)したのち、再度ピットインして下さい。この間にドライバーの最大乗車時間を超過してしまう場合は、競技委員長の判断により救済処置を適用します。
- 赤旗の提示時間が競技開始後 30 分以内であれば、救済措置が適用される場合があります。

⑰ペナルティ

スタート時

- スタートグリッドでのバック、およびバックギアを使用した場合は、競技長の判断により失格となる場合があります。
- フライング(ジャンプ)スタートは 2 周減算とします。

フラッグ

- イエローフラッグ提示区間での単独スピンは、1 周減算とします。
- イエローフラッグ提示区間での追い越し、コースアウトは、5 周減算とします。
- フルコースコーション中の追い越し、スピン、コースアウト、事故等は、失格とします。
- セーフティカーコントロール中の追い越し、スピン、コースアウト、事故等は、失格とします。
- ブラックフラッグの提示を 3 周以上無視した場合は、超過 1 周につき 3 周減算とします。
- ブラックフラッグに該当する危険走行をした場合は、1 周減算または失格とします。
- オレンジディスクの提示を 2 周以上無視し、または提示中に競技が終了した場合は 2 周減算とします。
- レッドフラッグ掲示後の追い越し、失格とします。
- チェッカーフラッグが掲示され、コントロールラインを通過した後の追い越しは、1 台ごとに 1 周減算とします。
- チェッカーフラッグが掲示され、コントロールラインを通過した後のスピン、コースアウト、事故等は、5 周減算とします。
- ダブルチェッカー以上は、失格とします。

連続走行規定時間

- 連続走行最大時間を超過した場合は、1 周につき 1 周減算とします。
- 連続走行最小時間に満たない場合は、未達時間にかかわらず 5 周回数減算とします。ただし、走行中止の理由によっては免除になる場合があります。

ピット

- ピットレーンでの速度超過は、3 周減算とします。(ピットロード制限速度は 40km/h です)
- ピットレーンでのバック、およびバックギア使用は、3 周減算とします。
- ピットレーンでの追い越し、接触事故等は、3 周減算とします。
- ピットガレージ作業エリア、ピットガレージ内、サインガードは火気厳禁です。違反した場合は、3 周減算とします。

その他

- 喫煙場所以外での喫煙は厳禁です。ドライバーの喫煙所以外での喫煙は、3 周減算とします。そのほかのスタッフの喫煙については厳重注意とします。
- ピットガレージ作業エリア、サインガードにハイヒール、サンダル等での立ち入りは厳重注意とします。注意を複数回無視した場合は、1 周減算とします。

⑱ゴール

- 2 時間経過後にトップ走行の車両に対し、ゴールポストでチェッカーフラッグを振動提示します。
- チェッカー後は、全ポストでイエローフラッグを静止表示します。

- チッカーを受けた車両はスピードを落としてピットインして下さい。チェッカー後の追い越しは禁止です。
- ダブルチェッカー、それ以上はペナルティの対象になります。また、オフィシャルの誘導がない限り、コースをショートカットすることはできません。
- 赤旗提示時が、競技時間の 70% (84 分) 以上を消化している場合は競技成立とし、赤旗中断の前の周回を着順とします。

⑱その他

- その他の注意事項、タイムスケジュールは受付時、ドライバーズブリーフィング等で確認して下さい。
- 荷物や工具は各自で管理して下さい。盗難、紛失の場合、事務局、及び、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、速やかに事務局へ連絡をして下さい。
- パドック内やコース上においての人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- パドックやピットレーンは制限速度を厳守し、最徐行が義務であると心がけて下さい。
- 誓約書内容、レギュレーション内容を理解していることが参加条件であり、申し込みの時点でそれらを了承しているものと見なします。
- 事務局、スタッフ、オフィシャルや他の参加者に対して、暴言、暴力、威嚇、妨害、金銭の請求、賠償請求などを行った場合、事務局判断にて即時失格、および以後の受付拒否とします。
- 失格の場合、走行前であっても参加費は返却しません。事務局からの通達、指示を受け入れない、実行できない方なども即時失格、以後の受付を拒否します。
- ガードレールなど、サーキットの設備に損害を与えてしまった場合、修理に伴う実費をお支払いいただきます。この見積・請求はサーキット側から事務局に提示されます。事務局はそれをそのまま該当チームにお伝えします。お支払いは事務局へお願いします。
- 複数台、または直接の接触がなくとも、事故の原因となったチームは、該当全チームが連帯責任となります。サーキット施設破損、備品使用料などの弁償は、該当チーム全員での分担負担とします。この分担弁償については該当チームと事務局との話し合いにより決定します。
- ガードレールなど、サーキット設備の同一箇所に対し、時間差で複数のチームが損害を与えた場合は、最初に損害を与えたチームに責任があるものとします。
- 本レギュレーション、および誓約書の内容に納得できない場合は、参加を受け付けることができません。
- 参加費 90,000 円には、5 名分のランチチケットを含みますが、追加でランチをご希望の場合は、当日受付にてランチチケットをご購入下さい。
ランチチケット:1,000 円(税込) ※先着順となります。売り切れの場合はご了承ください。

※ 本レギュレーションは随時更新される場合があります。その際は WEB 等に最新版を掲載しますので、確認をお願いします。